2月6日 稲津町青少年育成町民会議

青少年育成地区推進委員さんをはじめ、約 100 名の方にお集まりいただき開催しました。各部会の活動報告等確認し、日頃の努力をたたえ表彰状・感謝状を授与しました。

令和６年度青少年育成町民会議より表彰状・賞状・感謝状授与 敬称略

＜表彰状＞

- 神田　涼（稲津小3年）全農杯全日本卓球選手権大会県予選カブ女子シングルスの部優勝・全国大会出場　他
- 神田　玲（稲津小6年）全農杯全日本卓球選手権大会県予選ホープズ女子シングルスの部優勝・全国大会出場　他

- 成瀬隼磨・中嶋葵麻・加藤迅・渡邉怜矢　（稲津小４年）
  岐阜県フットサルリーグ U-10　優勝
- 熊澤　崚・濵田倖輔（瑞浪南中2年）
  ボランティア（まちづくり・公民館）皆勤
- 今瀧惺音（瑞浪南中1年）全国中学校体育大会ソフトボール大会出場
- 原田瀬蓮（麗澤瑞浪中1年）全国中学校体育大会スケート大会出場
- 神田　岳（麗澤瑞浪中2年）
  第 64 回大阪国際招待卓球選手権大会
  （全国オープン）出場　他
- 市岡蘭生・藤田紘成・服部鉄平（麗澤瑞浪中2年）
  全国中学校ゴルフ選手権大会男子団体の部出場

＜賞　状＞　青少年育成町民会議標語最優秀賞

宇井彪翔（稲津小1年）　可児里彩（稲津小6年）
平子穂乃花（瑞浪南中2年）　青木そら（麗澤瑞浪中1年）

＜賞　状＞　社会福祉協議会標語 稲津支部長賞

澤井琉伊（稲津小4年）　勝股孝太郎（稲津小6年）
安田　桜（瑞浪南中2年）　奥田こころ（麗澤瑞浪中2年）

＜感謝状＞　伊藤博人　令和5年度稲子連会長
伊藤成正　令和5年度稲子連総括指導者

2月15日 瑞浪市青少年育成市民会議

＜感謝状＞　熊澤博隆　平成 30 年度より稲子連の役員と令和 2 年度より瑞浪市子ども会連合会の本部役員を務め、多年にわたり大きなリーダーシップを発揮され、青少年の健全育成に貢献されています。

		1月1日現在	2月1日現在	増減
人口	男	2,028　人	2,029　人	1
	女	2,039　人	2,036　人	−3
	計	4,067　人	4,065　人	−2
世帯数		1,733　世帯	1,735　世帯	2

	不燃ごみ	ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
小　里	3月14日	3月26日
	4月15日	4月23日
萩　原	3月13日	3月25日
	4月14日	4月22日

ii-nuts!!ギャラリー

次回はお雛様を展示します

この木なんの木？奇木（きぼく）展

屏風山に登る途中にも変わった形をした木が時々ありますね。長い年月をかけて自然が創り出した作品です。奇岩と呼ばれるものはうさぎ岩やくじら岩など動物に例えられることが多いようですが奇木は何に似ているでしょうか。（小栗正敏氏所蔵）

３月の稲津さん

お元気！寿さん　名誉博士号おめでとう！

小木曽　幸一さん
80歳　（神戸）

平成21年に入学し今年で16年目です。寿大学では麻雀・マレットゴルフ・カラオケと複数のクラブ活動をしています。

入学した頃は、母と一緒に参加していました。親子での寿大学生は初めてでした。母も歌うことが好きで、家の初代カラオケ機は母が買ってくれたものでした。声を出すことは健康によくカラオケは、一番好きなクラブ活動です。高校生の頃覚えた麻雀が今も役に立っています。

定年前に何か趣味を見つけなければと思っていた時、三味線の演奏を聴いて感動し55歳から始め、稲津町文化祭でも演奏しました。旅も好きで寿大学や同年会などでも旅行に出かけます。コロナ禍は妻と岐阜県内の城や神社などをめぐりました。

好きなことを続けることが一番の健康法だと思います。

2月9日 第16回 いなつフォークvillage 2025

前日までの大寒波による影響で開催を心配していましが、当日は朝から日差しの暖かな日でした。町内はもちろん市内外から延べ 200 名を超える来場者で賑わいました。27 名のメンバーは 39 曲をアレンジし演奏し歌いました。

小学６年生のグループはもうすぐ小学校を卒業、その気持ちにあった曲を選曲しました。大学や就職で稲津を離れたグループは、個々で練習し当日のリハーサルで合わせ、本番では素晴らしいパフォーマンスを魅せてくれました。

来場者の皆さんは、出演者の演奏や歌に感動し、演奏者は練習の成果を発表できる機会ができたこと、皆さんの笑顔が見えたことに喜びを感じていました。準備から片付けまで、メンバーと親さんや家族が積極的に動いてくださり、音楽以外でも絆の強さを感じました。

館長コラム

感謝

月刊「いなつびより」の自身による館長コラムも5年60回の投稿となりました。長きにわたり稚筆な文書にお付き合いいただきましたが今回をもって（M）による館長コラムの最終となりました。誠にありがとうございました。

公民館は①集う：生活の中で気軽に人々が集う場所、②学ぶ：自らの興味に基づいて、知識や技術を学ぶ場所、③地域の様々な機関や団体の間のネットワークを形成する場所として地域住民のために社会教育（生涯学習）を推進する拠点としての役割を果たしています。

5年前に公民館長になってから自分なりに職務に精励してきたことを少しでも多くの町民の皆さんに認めていただけたならば幸いに存じます。しかし組織とは新陳代謝を繰り返しながら成長するものと考えており、長きにわたり職に居続けることは知らないうちに傲慢に陥りがちになったり、ワンマン体制を作る危険も伴っています。組織とは継続力と同時に発想の転換も必要だと思います。自分の中では〈引き際の美学〉自ら引くタイミング、時期を見失わないようここで公民館長の職を辞することとし、新たな公民館の創造のもと、新たな公民館の創造に期待したいと思います。

5年の長きにわたり支えていただいたすべての皆さまに感謝し筆を置きます。

（M）